

高齢者のがんを考える会議5

議事次第

開催日時：2021年11月27日、土曜日 14時～16時

Web開催

テーマ：老年腫瘍学の確立を目指して：老年科と腫瘍科の密接な連携

主催：厚生労働省科学研究 がん対策推進総合研究事業「高齢者がん診療ガイドライン策定とその普及のための研究」（研究代表 佐伯俊昭）

対象：研究分担者・協力者、高齢者がん医療協議会（コンソーシアム）委員、高齢者がん診療ガイドライン作成委員会ならびに運営委員会委員、日本がんサポーターブケア学会学会員、日本老年医学会学会員

背景と目的

日本において、老年腫瘍学（geriatric oncology）のテキストは無い。老年医学は、人の個としての老化、細胞老化の基礎研究をはじめ、臨床的には個人差の大きい高齢者を総合的に評価し、その問題や障害の改善、機能低下予防を検討してきた。

一方、腫瘍学は、局所療法としての外科、放射線治療、全身療法としてのがん薬物療法や免疫療法、とくにがんゲノム医療に代表されるがん細胞の特徴あるいは免疫環境の異常を分子レベルで研究・解明し、それを標的とした治療薬が開発されがん治療の進歩に寄与してきた。

しかし、がん罹患・死亡とも高齢者が多くなか、高齢がん患者の臨床研究は十分でなかった。とくに脆弱な高齢がん患者の病態解明や治療は研究から除外されてきた。

本パネルディスカッションでは、老年腫瘍学の基礎から臨床、教育・研究について現状と課題を老年科医と腫瘍医が議論し、老年腫瘍学の確立を目指して今後の方向性を示すことを目的とする。

プログラム

高齢者のがんを考える会議5

2021年11月27日、土曜日 14時～16時

テーマ：老年腫瘍学の確立を目指して：老年科と腫瘍科の密接な連携

司会

唐澤久美子 東京女子医科大学 放射線腫瘍科

杉本 研 川崎医科大学 総合老年医学

1. 挨拶 佐伯俊昭 埼玉医科大学国際医療センター 病院長

2. 基調講演

松岡 歩 国立がん研究センター がん対策研究所 支持・サバイバーシップ TR 研究部
「フランスの老年腫瘍学から学ぶ」 20分（質疑応答を含む）

3. パネリスト講演

老年科

重本和宏 東京都健康長寿医療センター 老年病態研究チーム 運動器医学
「サルコペニアのメカニズム～ミトコンドリアについて」 15分

山本 寛 東京都健康長寿医療センター 呼吸器内科

「老年科医と高齢者からみたがん診療の新たな座標軸
～日本老年医学会高齢者がん診療小委員会からの提案～」 15分

腫瘍科

海堀昌樹 関西医科大学 肝胆膵外科

「臨床老年腫瘍学～腫瘍外科医の立場から」 15分

水谷友紀 杏林大学医学部 総合医療学 / 腫瘍内科学

「腫瘍医から老年科医への要望」 15分

4. ディスカッション 40分